

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報						
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要			
夢の島公園・夢の島熱帯植物館			(指定管理者名) アメニス夢の島グループ			
			(団体の概要) 代表企業：株式会社日比谷アメニス（統括管理）			
指定期間			○株式会社グリーバル(植栽管理他) ○株式会社日比谷花壇(マケティング・イベント他)			
R5. 4. 1～R10. 3. 31(5年間)			○アズビル株式会社(設備保守・警備) ○日建総業株式会社(施設・清掃)			
			○株式会社エコルシステム(情報管理他) 計6社による連合体			
2 施設名		3 収支(単位:千円)				
夢の島公園・夢の島熱帯植物館		項目	令和6年度 金額	令和5年度 金額	令和4年度 金額	公園別支出額
		収入 計	305,738	293,113	294,940	夢の島公園： 夢の島熱帯植物館：
		指定管理料	305,182	292,993	280,763	
		内訳 利用料金				その他収入： (キャッシュレス精算)
		その他収入	556	120	14,177	
		支出 計	305,738	293,113	294,940	
				収支差	0	0
4 管理運営の概要						
公園：「新木場&夢の島わくわくおさんぽアートフェス2024」を開催。地域回遊、環境啓発イベントを地域の学校や企業と連携して実施した。このイベントにて協働した都立大江戸高等学校ボランティア部とは、これを契機に10月より6か月にわたり、月に1回1DAYボランティアを実施している。また、SDGsにつながるイベントとして夢の島公園を地域のリサイクル中継地点とする「植物交換会」や「中古園芸資材の無料提供」を実施し、高いリサイクル率を達成するなど、施設特性を生かした地域施設や企業と連携した地域活向上につながる事業を引き続き実施した。さらに、自然薯の掘り出し体験会やアーチェリー場と連携した子供向け芝滑りイベント、ティラノサウルスレース、ツリークライミング体験会を実施するなど、新たな公園利用方法を模索しながら「夢の島公園」の認知度の向上・普及につなげた。						
植物館：昨年に引き続き、小笠原関連イベントや夜間開館を行うと同時に、今年度は新しくゴエベルティア展を開催すると同時に越懸澤諸島で活躍されている都レンジャーの方による小笠原固有種の説明をするドームツアーをはじめとするスタッフ研修も充実させることにより、植物の魅力を伝える施設として魅力向上につなげている。また、日々のSNS運用や人気イラストレーター等とのコラボイベント「ポップアップ展」を通して、昨年度より10～20代の若年層の来館が年間を通じて多くなるなどの効果があり、年間来館者数でも目標来館者数を出越した12万人を超えるなど利用者数を大きく伸ばし、アメニス夢の島グループ開館以来最多来館者数となった（昨年比134.7％）。						
5 管理状況						
①維持管理						
公園：排水管高圧洗浄や便所特別清掃を計画的に実施し、不要な作業にかかるコストの削減や老朽化等における施設の予防保全に寄与している。台風・強風・降雪予報時には事前に風散養生等の対応を行い、場合によっては夜間の警備待機・早朝巡回を行うことで利用者の安全を確保した。また、880場トイレに防犯カメラの設置工事を実施し、利用者の安全安心な利用につなげた。さらに、樹木診断、日常点検に基づき大径木管理を計画実施したことで、落枝に夜利用者の事故「0」を達成できたが、倒木や落枝がなくなったわけではないため、継続して大径木管理の実施を行う。						
植物館：昨年に引き続き、夏季は災害級の猛暑であり、植物館入り口にミスト扇風機を2台設置した他、テントを設営し、椅子と机、扇風機を設置することで、日陰と風のある休憩スペースをつくった。また、9月には新高等清掃工場からの熱供給が停止したことを受け、昨年よりも台数を増やし、映像ホール・企画展示室にスポットクーラー2台、扇風機3台、イベントホールにはスポットクーラー3台、扇風機2台を設置し、電気をを用いたエアコンが聞く部屋から扇風機で風邪を送る配置にした。これらの取り組みによって、お客様が快適に過ごせるよう努めた。さらに、夢の島熱帯植物館エントランス入り口のゴムチップ舗装の擦り付け工事を実施し、利用者の安全安心の確保につなげるなど、老朽化が進んだ施設設備補修は耐用年数・経年劣化・利用者の満足度と現状を照らし合わせ、緊急対応経費を活用し、各種実施した。大温室や室内展示スペースの熱帯植物に対し、定期的な施肥や入替、メンテナンスを行い、花木・観葉・果樹を常にいい状態で鑑賞していただいた他、企画展示と連動した植物の充実も継続して実施している。						
②利用者への対応						
公園：昨年に引き続き実施したわくわくおさんぽアートフェスの認知度を高めるために、「東京ごみ戦争」の歴史を共有する杉並区高井戸芸術祭とのクロス展示が林田真季氏参加により実現した。不法投棄問題をテーマにした作品は注目度を集め、各種、国内アート情報媒体に取り上げられ、夢の島公園の認知度向上にもつながった。また、地域回遊性を高める工夫として、株式会社アットホームとの企業連携により、「勝栗毛」というスマホアプリにて夢の島公園をゴールとした散走コースをイベント期間限定で公開し、公園利用機会の創出・地域活性化へつなげた。						
植物館：ターゲット層を定めて継続してきたSNS運用とポップアップ展の開催に伴い、これまで多かったファミリー層に加え、若い世代が年間を通じて増加するなど、認知度向上に大きく寄与した。また、新たな取り組みとして「ゴエベルティアの世界展」を実施した。解説板を作成・掲示し、植物の魅力を伝えることができた。3年目を迎えた小笠原支庁との連携イベントを開催し、今年度新たに「都レンジャーの推し植物選手権」を実施した。小笠原諸島の固有種に関心を持っていただくためのイベントとして好感触であった。また、定番イベントとなっている夏の夜間開館は人を分散させるため今年度は3日間開催にし、Xのみでの告知を行った。最終日には奄美大島関連イベントを7年ぶりに実施し、昨年と同程度の2533人の方々に楽しんでいただいた。また、新たにコミュニケーションロボット「ココ」によるSDGsや生物多様性に関して取り上げるイベントを開始した。植物館としてのSDGsや生物多様性について理解を深めることに寄与した。						
6 利用者アンケート結果						
実施方法：QRコードを读取、スマホで回答			※植物館の評価は4段階評価であるため、1.25を掛け5段階評価の数値に補正			
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	施設ごとの分析・評価
夢の島公園	4.6	4.6	4.4	4.5	4.1	全体的な満足度は上昇した。しかし、「催し・イベントなどの充実度」の項目においてやや低い評価となった為、次年度は地域連携イベントやアーチェリー場他夢の島公園内施設との協働イベントを増やし、満足度の上昇を図りたい。
夢の島熱帯植物館	4.8	4.8	4.8	4.8	4.6	公園と同様、少しではあるが全体的な満足度は上昇した。可動式授乳室(momoro)、自動開閉式子どもおむつボックスの設置に引き続き、生理用品ディスプレイ「01tr（オイテル）」を設置した。アンケートでも「設置してあることで安心して植物館に来館できる、できた」との声を頂く等、これらの取組みにより、来館促進や満足度上昇につなげていきたい。
7 入園者数の状況（単位：人）						
施設名	当該年度	分析				
夢の島公園	411,523	酷暑となっている夏の時期は避けた地域回遊イベントやアーチェリー場と協働した「ティラノサウルスレース」と「ツリークライミング教室」の開催を実施することで前年よりも入園者は増加した。しかしながら、一昨年度の入園者数には届いていない状況のため、休止していた「自然薯体験」やアーチェリー場との協働イベントを増やすことで、年間入園者数の増加を目指していきたい。				
夢の島熱帯植物館	149,777	各種SNSをターゲット層を定めて運用を行い、ポップアップ展などのアーティストコラボ企画によって、今年度は年間を通じて、10～20代がすべての年代層を抑えトップとなった。また、10月については来館者数を抑える取組みを行った。12月・1月・2月などのボトム月の月には来館者数の増加を目指し各種イベントを企画し、年代層にあった告知などの取組みを強化した。その結果、ボトム月の来館者が徐々に増え、月の来館者数の平均をあげることで年間来館者数「149,777人」を達成した。				
合 計	561,300					

施設名 夢の島公園

地域・企業連携

地域活性

「新木場&夢の島わくわくおさんぽアートフェス」継続開催

一昨年に続き第三回目の開催。夢の島公園内14カ所・新木場エリア9カ所にアート作品を展示。
植物館が事務局を担当し、昨年に引き続き課題である広報強化や地域連携強化を重視し準備・開催された。

【課題①：広報強化】

「東京ごみ戦争」の歴史を共有する杉並区高井戸芸術祭とのクロス展示の実施。

国内アート情報媒体の中でも最も影響力の強い媒体での取り上げ。

●杉並区高井戸芸術祭とのクロス展示

今年は、「東京ごみ戦争」の歴史を共有する杉並区高井戸芸術祭とのクロス展示として、新江東清掃工場会場にアーティストの林田真季を招致。不法投棄問題を扱う写真作品展示を行い、注目が集まった。

高井戸芸術祭2024
～Yes in my back yard～
2024年9月29日～10月12日開催 杉並区
「東京ごみ戦争」の歴史を共有する杉並区高井戸芸術祭とのクロス展示として、新江東清掃工場会場にアーティストの林田真季を招致。不法投棄問題を扱う写真作品展示を行い、注目が集まった。

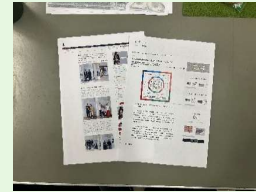


●掲載媒体の増加

特に、web版美術手帖は国内アート情報媒体の中でも最も影響力の強い媒体の一つであり、掲載に至るまでの競争率が高く、アートフェス開始3年目にしての快挙となった。

<掲載媒体>

- ・小学校向け情報誌「エコチル」
- ・webメディア「TOKYO ART BEAT」
- ・webメディア「web版美術手帖」
- ・webメディア「美術展ナビ」
- ・ラジオ「むんばれTuesdayその日の天使」
- ・テレビ番組「ぶらり途中下車の旅」



【課題②：地域連携強化】

地域周遊イベント「秋の散走めぐり」、地域住民募集によるアートパトロールボランティアの実施。

他、共同イベントで地域施設企業の連携を高めた

●地域周遊イベント「秋の散走めぐり」

株式会社アットホームの協力で「膝栗毛」アプリにて期間限定の散走コースを作成した。「新木場木材会館スタート→夢の島公園ゴール」となり、最終地点には、サイクルスポットも併設した。



サイクルスポット



●アートパトロールボランティア「アトバト隊」

夢の島公園内にて設置された屋外作品の見回りとして「アトバト隊」を募集したところ、9月には区内中学生2名、都立大江戸高等学校と公園内施設BumB東京スポーツ文化館が参加した。10月には、一般の方3名、公園内施設BumB東京スポーツ文化館の職員2名が参加した。「夢の島わくわくワークショップ」当日には、かえつ有明高等学校93名、都立大江戸高等学校5名の参加があった。



イベント

●夢の島わくわくワークショップ

「新木場&夢の島わくわくおさんぽアートフェス」の関連イベントとして「夢の島わくわくワークショップ」を今年も開催した。今年は、地域企業である佐川急便㈱にワークショップの出店を頂き、近隣であることとCSR活動の一環として、環境問題などの取り組みなどのPRを頂いた。また、アートフェスに作品を提供いただいているアーティストのワークショップを9つ実施した。他にもアーティストボランティアとして市立かえつ有明高等学校の生徒によるワークショップも実施した。



佐川急便
環境ワークショップ



私立かえつ有明高等学校
ワークショップ

地域・企業連携

地域活性

環境配慮

植物交換会・中古園芸資材の回収提供

- 近隣ヒアリングで学がった地域の悩み「高齢化」「園芸離れ」「園芸遺品」
- 園芸を始めやすく終えやすい地域の仕組みづくりを夢の島公園を中心に展開する。
- 春・秋開催で継続をアピール。高齢の方の園芸終い断捨離などの資材持込が増えている。
- 無料提供を通じ、園芸初心者若くは世代の参加も増えた。
- ボランティア、企業、団体、中学生職業体験、大学生のインターンなど幅広く協力。



島忠ホームズと連携
古土回収情報提供



春の開催
(ゴールデンウィーク関連イベント)



秋の開催
(アートフェス関連イベント)



春・秋ボランティア
15名 247鉢 植え替え



5月4日～5日		
◆植物交換会	参加者	747名(持込数 509点 持帰数 281点)
◆中古園芸資材の回収提供	参加者	1090名(持込数 270点 持帰数 317点)
6月15日 ◆1Dayボランティア	参加者	11名(植替え 137鉢)

10月12日～13日		
◆植物交換会	参加者	234名(持込数 351点 持帰数 168点)
◆中古園芸資材の回収提供	参加者	1005名(持込数 158点 持帰数 117点)
11月3日 ◆1Dayボランティア	参加者	4名(植替え 110鉢)

他施設連携

出張園芸リサイクル

■夢の島公園で取り組んでいる【園芸リサイクル】「植物交換会」「中古園芸資材の無料提供」を埼玉県三郷市立ピアラシティ交流センターにて出張開催した。



植物交換会



中古園芸資材の無料提供



安全・安心への取り組み

■利用者の安心安全を第一で適切な維持管理作業や点検を実施。

■突発的な案件にも迅速な対応で利用者の安全を確保。

●維持管理作業



台風・強風事前対応等



蜂の巣注意・撤去対応



ベンチ・野外卓の更新



温水管漏水

●防災訓練&利用者指導



防災訓練



防災トイレ設置訓練



アーチェリー場で消火訓練



地域・企業・学校連携

■1 dayボランティア鉢の植替え開催。

イベント協働より都立大江戸高等学校ボランティア部との協働開始（月1回実施）

■ボランティア花壇の植替え

■アーチェリー場と連携してスポーツイベントを開催

●ボランティア活動の充実

・6月、11月の2回開催。

・毎月ボランティア定例会実施。

・都立大江戸高等学校ボランティア部との1DAYボランティアの協働（10月より月1回実施）
「新木場&夢の島わくわくおさんぽアートフェス2024」での協働がきっかけとなった



1 DAYボランティア



ボランティア花壇の植替え



●都民協働

■中学生の職場体験を受入れ、公園植栽担当の業務補佐や中古園芸品回収提供イベントの準備作業などを体験していただいた。学芸員実習、インターンシップ生についても受入れを実施、綿密なスケジュールを設定し、夢の島の歴史を踏まえた公園・植物館についての講義も実施した。



中学生の職場体験



学芸員実習



インターンシップ受入

●周辺地域施設と連携したイベント

ティラノサウルススレース

・アーチェリー場とBumB東京スポーツ文化館と連携



ツリークライミング体験

・アーチェリー場と連携



●自然薯の試験栽培&収穫体験会

7年ぶりに試験栽培を行った試験掘りをした際生育が比較的良かったため、収穫会を実施した。



施設名 夢の島熱帯植物館

来館者大幅増加

★R6年度 (目標年間来館者数: 12万人)
 年間来館者数: 149,777人

前年比
 134.7%

要因①: 各種SNSの運用

●Twitter



●Instagram



●Facebook



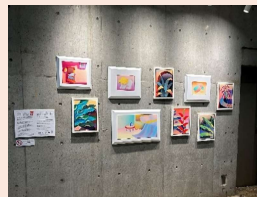
★各種SNSをターゲット層に応じて運用を継続し、定期的な配信を行った。また、インフルエンサーなど来館者発信の投稿にも注目が集まり、認知度向上に大きく寄与している。

要因②: ポップアップ展の開催

●みなはむ展



●millitsuka展



要因③: イベント・企画展示開催

夜間開館開催 (7月20日(土)、21日(日)、28日(日))

★3日間の開催で来館者数は計2533人であった。各所で行列ができるなど大変な人気であり、ボランティアガイドによる植物の解説も好評であった。地域連携・企業連携としてキッチンカーを配置したり、カフェを利用した出店をしていただいた。



植物館外観



地元の食堂のキッチンカー設置やカフェ運用



月見草配布・ボランティアガイドの実施



シャトルバス運行



夜間会館限定スタンプラリー実施



押し花ミニライトワークショップ



●我那覇美奈 presents 奄美祭り



我那覇美奈ライブ



奄美情報発信コーナー設置



ミニ奄美大島展

コミュニケーションロボットを用いたSDGsと生物多様性イベント



デザイン＆名前募集

はじめまして！ココだよ！
～夢熱にロボットがやってきた～ココのゆめねつ植物図鑑
～ヤシ編～

企画展示「小笠原諸島展」(2月11日(火)～4月20日(日))

- ★東京都小笠原支庁、小笠原村観光局と連携し長期の企画展示を今年度も実施。独特な文化や生態系を、絶景の島々や美しい自然の写真で紹介した。バックヤードにて保有する小笠原固有の植物もイベントホールで展示。
- ★小笠原諸島で活躍されている都レンジャーの方を招き、映像ホールにて小笠原現地の同時中継も含む講演会イベントと植物館のドームツアーを実施し、好評を博した。



小笠原諸島展・企画展示



都レンジャーによる
同時中継を含む講演会



都レンジャーによる
ドームツアー



都レンジャーの
押し植物選手権

●都レンジャーによるスタッフ研修

■都レンジャーの方々に小笠原固有種に関して、小笠原諸島現地のとの違いやそれぞれの種の生態的な特徴に関して解説をスタッフ10名に向けて実施していただき、質疑応答も逐一行い、小笠原諸島交友種に対する理解を深めることができた。



●その他イベント

夢熱ハロウィン・パーティー 前庭におぼけかぼちゃの設置

<9月末～12月>



アウトリーチ活動

■植物館から移動してイベント等を多数実施。



江東湾岸まつり2024出展



ぬいぐるみのおとまり会

パナマ大使館との連携



都民協働

●「ラン大賞」出張授業



アクアスポーツフェスティバル



正月の新木場駅内装飾



熱帯植物・植物館等の説明



江東区立毛利小学校

維持管理

■利用者の安全と利便性を第一に考えた施設維持・修理を実施。

●館内維持



熱供給停止時の室温最適化制御

●都工事対応



栽培温室B竣工検査立会

●修繕



大温室流れポンプ工事



大温室温水管
ハンドルバルブ新設工事



イベントホールテント
稼働ワイヤー交換工事

その他



■企画展「夢熱ハロウィンパーティー」が終了し、企画展「熱帯のクリスマス展」開催まで空いた1週間の期間の中で、植物の紹介展示として「ゴエベルティア（旧学名：カラテア）の世界展」を開催した。ドーム内に植栽されている7種、エントランスに9種を解説文とともに展示した。



ゴエベルティアの世界展

ボランティアガイドツアー他

フォトウェディング



取材・撮影対応
しゅと犬くん



取材・撮影対応
ドラマ「ソロ活女子」



OITr設置



おむつの無料提供



学芸員実習



インターンシップ



職場体験



リュウゼツラン開花

<夢の島熱帯植物館 券売所裏>



7/14に開花



～開花した様子～

<夢の島公園 照葉樹の森>



7/18に開花